

住民への対応

聴力・視力の低下対策

丁寧な説明を心がける



矢野 昭三 議員

すべての住民に丁寧に説明をしているか。

答 松田 副町長

身近な事例に置き換えるなど分かりやすく丁寧な説明を心がける。説明する能力、コミュニケーション能力が必要だと考えている。

介護福祉

職員対策は

来年度 取り組む

問

介護職員対策は、6月議会で「賃金体系や職場関係を外部がしっかりした評価をするため、介護人材確保協議会を発足」と答弁があったが、どの程度進んでいるか。

答 大西町長

町として何が出来るか協議をし、来年度当初予算にヘルパー養成事業費の計上を予定している。

戦没者、遺族

遺族会・

平和公園等は

行政が積極的 に参与する

問 二十歳頃から聴力・視力が低下していく。住民は専門用語で早口だと理解し難い。

住民は専門用語で早口だと理解し難い。

答 大西町長

3地区の遺族会の代表者に様々なご見解をお伺いさせて頂いた。高齢化などのため活動低下が課題である。

遺族会の活動は誰かが受け継いで行かなければならず、皆様と協議を継続していく。

問 会の運営、忠魂墓地等維持管理。恒久平和を願うための平和公園をどのように考えているか。

会の運営、忠魂墓地等維持管理。恒久平和を願うための平和公園をどのように考えているか。



防災対策

鹿島からの浸入波対策は

関係者と協議し県に要望



佐賀地区と佐賀漁港周辺を上空から望む。中央部には鹿島も見える

問 鹿島鳥居の前から漁港内へ極めて強い波が浸入し、大変重要な財産が被害を受けている。透過提、不透過提の検討はどの程度進んでいるか。

答 大西町長

様々な課題があるが静穏度の向上対策に向けて県、漁協、関係者と協議調整を図り要望する。

産業振興

イワシ活餌の 経済効果は

カツオの水揚げ 等広くある

問

イワシ活餌事業による経済・印象・観光等の効果を積算しているか。

また、土佐西南大規模公園計画の見直し之急がれるが、進捗を問う。

答 大西町長

県内外のカツオ船が活餌を求めて入港し、その際、カツオの水揚げ、燃料、水、等経済効果が広くある。

また、公園計画については、長期事業に着手していない区域の産業・観光振興の視点も反映した見直し、整備を県に要望している。